

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(鶴見区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度 めざす成果および戦略											
				計画			自己評価								
項目		成果指標と目標値		めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向・改善策	
							A:有効であり、継続して推進 I:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない		a:順調 b:順調でない			
1	「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて														
	(1)	豊かなコミュニティの実現													
		人と人とのつながりづくりの促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	H29年度までに50%以上	[2-1] 幅広い人たちが参加しやすい魅力ある地域活動が行われ、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域コミュニティをめざす。	地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだと回答した区民の割合：平成29年度までに70%以上	・自律的な地域運営や地域活動の活性化に向けた支援を行う。 ・地域活動への関心が低い人たちや地域活動に関わりの薄かった人が地域活動へ参加しやすい環境づくりに向けた支援を行う。 ・多様な分野における市民活動について、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図る。	ア	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合68.5%	67.4%	A	A	a	—	—
					[4-1] 安全で住みやすいまちと感じている区民を増やす。	安全で住みやすいまちと感じている区民の割合：平成29年度までに80%以上	・鶴見区の街頭犯罪発生件数の減少に向け、区民、地域、関係機関、事業所などが連携・協働し、区民のより一層の防犯意識の向上につながるよう区を挙げての啓発活動を推進する。 ・街頭犯罪の約6割を占める自転車盗について重点的に取り組む。 ・放置自転車も含めた自転車利用者のマナー向上をはじめ、広く交通ルールが守られるよう、区内関係機関等と連携し、交通安全の普及・啓発活動に取り組む。	ア	安全で住みやすいまちと感じている区民の割合：81.6%	84.7%	B	B	a	—	—
					[4-2] 地震・風水害等の災害に対する、区全体の危機管理対応能力が向上していると感じている区民の割合を増やす。	地震・風水害等の災害に対する、区全体の危機管理対応能力が向上していると感じている区民の割合：平成29年度までに70%以上	・区民、地域、区役所、関係機関、学校等が連携した訓練などを通して区全体の危機管理対応能力を向上させる。 ・地域の自主防災力の強化とそのための支援を行う。 ・地域コミュニティの活性化を図り、自主防災組織による自助・共助の視点を盛り込んだ防災活動が活発に行われるための仕組みづくり、支援を行う。	ア	地震・風水害等の災害に対する、区全体の危機管理対応能力が向上していると感じている区民の割合：35.7%	40.5%	B	B	a	区役所で取り組んでいる事業や地域で実施している避難所開設訓練等について、事業について、知らない、興味がわかないなどにより参加者が固定化している。	HPやSNSの活用など、より効果的に広報を実施することにより、広く区民への周知を図るとともに、体験型学習と組み合わせることにより、今まで興味のなかった方が参加したいと思う事業を実施する。
	(2)	多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現													
		地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[2-1] 幅広い人たちが参加しやすい魅力ある地域活動が行われ、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域コミュニティをめざす。	地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだと回答した区民の割合：平成29年度までに70%以上	・自律的な地域運営や地域活動の活性化に向けた支援を行う。 ・地域活動への関心が低い人たちや地域活動に関わりの薄かった人が地域活動へ参加しやすい環境づくりに向けた支援を行う。 ・多様な分野における市民活動について、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図る。	ア	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合68.5%	67.4%	A	A	a	—	—
	④				校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充の支援	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[2-1] 幅広い人たちが参加しやすい魅力ある地域活動が行われ、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域コミュニティをめざす。	地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだと回答した区民の割合：平成29年度までに70%以上	・自律的な地域運営や地域活動の活性化に向けた支援を行う。 ・地域活動への関心が低い人たちや地域活動に関わりの薄かった人が地域活動へ参加しやすい環境づくりに向けた支援を行う。 ・多様な分野における市民活動について、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図る。	ア	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合68.5%	67.4%	A	A

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(鶴見区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度											
					めざす成果および戦略											
項目		成果指標と目標値			計画			自己評価								
					めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向・改善策	
								ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			A：順調 B：順調でない	a：順調 b：順調でない				
(3)		地域資源の循環														
	㊦	地域資源が活用されやすい仕組みづくり	平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。	継続実施	[2-1] 幅広い人たちが参加しやすい魅力ある地域活動が行われ、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域コミュニティをめざす。	地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだと回答した区民の割合：平成29年度までに70％以上	・自律的な地域運営や地域活動の活性化に向けた支援を行う。 ・地域活動への関心が低い人たちが地域活動に関わりの薄かった人が地域活動へ参加しやすい環境づくりに向けた支援を行う。 ・多様な分野における市民活動について、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図る。	ア	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合 68.5％	67.4%	A	A	a	—	—	
	㊧	地域資源の循環による継続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数	H29年度までに 1件以上	[2-1] 幅広い人たちが参加しやすい魅力ある地域活動が行われ、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域コミュニティをめざす。	地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだと回答した区民の割合：平成29年度までに70％以上	・自律的な地域運営や地域活動の活性化に向けた支援を行う。 ・地域活動への関心が低い人たちが地域活動に関わりの薄かった人が地域活動へ参加しやすい環境づくりに向けた支援を行う。 ・多様な分野における市民活動について、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図る。	ア	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合 68.5％	67.4%	A	A	a	—	—	
	㊨	本市事務事業の社会的ビジネス化の推進	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数	H29年度までに 1件以上	[2-1] 幅広い人たちが参加しやすい魅力ある地域活動が行われ、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域コミュニティをめざす。	地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだと回答した区民の割合：平成29年度までに70％以上	・自律的な地域運営や地域活動の活性化に向けた支援を行う。 ・地域活動への関心が低い人たちが地域活動に関わりの薄かった人が地域活動へ参加しやすい環境づくりに向けた支援を行う。 ・多様な分野における市民活動について、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図る。	ア	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合 68.5％	67.4%	A	A	a	—	—	
(4)		地域公共人材の充実と中間支援組織の活用														
	㊩	地域公共人材の充実と活用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度までに 50％以上	[2-1] 幅広い人たちが参加しやすい魅力ある地域活動が行われ、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域コミュニティをめざす。	地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだと回答した区民の割合：平成29年度までに70％以上	・自律的な地域運営や地域活動の活性化に向けた支援を行う。 ・地域活動への関心が低い人たちが地域活動に関わりの薄かった人が地域活動へ参加しやすい環境づくりに向けた支援を行う。 ・多様な分野における市民活動について、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図る。	ア	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合 68.5％	67.4%	A	A	a	—	—	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(鶴見区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度											
				具体的取組											
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価							
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策		
									：目標達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ：目標未達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ：撤退基準未達成						
(3)	地域資源の循環														
	㊦	地域資源が活用されやすい仕組みづくり	平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。	継続実施	[2-1-1] 各地域に担当職員を複数名配置し、自律した地域運営に向けた支援を中間支援組織と連携して行う。 地域活動に関するさまざまな情報を収集・把握するとともに、広く区民や地域活動団体にPRする。 人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図り、地域の自主財源確保に向けた支援を行う。 ・中間支援組織と連携し、地域団体に会計の透明性に向けた助言・指導を行い、交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・中間支援組織等と連携し、各地域の広報活動に助言・指導 12地域 ・地域活動や地域の魅力などの情報発信 随時 ・地域の法人格取得支援 随時	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合60％以上	目標が30％未満であれば、事業手法を再構築する。	・地域活動協議会運営支援 12地域 ・会計勉強会の開催 12地域 ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・地域の魅力や地域活動情報を区HP・フェイスブックへ掲載 随時 ・広報事業勉強会 10回	・会計の透明性に向けた勉強会 12地域 ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・各地域への広報活動に助言・指導 12地域 ・地域活動や地域の魅力などの情報発信 随時 ・地域の法人格取得支援 随時	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合 68.5％	()	○	—	—	
	㊧	地域資源の循環による継続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数	H29年度までに1件以上	[2-1-1] 各地域に担当職員を複数名配置し、自律した地域運営に向けた支援を中間支援組織と連携して行う。 地域活動に関するさまざまな情報を収集・把握するとともに、広く区民や地域活動団体にPRする。 人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図り、地域の自主財源確保に向けた支援を行う。 ・中間支援組織と連携し、地域団体に会計の透明性に向けた助言・指導を行い、交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・中間支援組織等と連携し、各地域の広報活動に助言・指導 12地域 ・地域活動や地域の魅力などの情報発信 随時 ・地域の法人格取得支援 随時	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合60％以上	目標が30％未満であれば、事業手法を再構築する。	・地域活動協議会運営支援 12地域 ・会計勉強会の開催 12地域 ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・地域の魅力や地域活動情報を区HP・フェイスブックへ掲載 随時 ・広報事業勉強会 10回	・会計の透明性に向けた勉強会 12地域 ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・各地域への広報活動に助言・指導 12地域 ・地域活動や地域の魅力などの情報発信 随時 ・地域の法人格取得支援 随時	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合 68.5％	()	○	—	—	
	㊨	本市事務事業の社会的ビジネス化の推進	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数	H29年度までに1件以上	[2-1-1] 各地域に担当職員を複数名配置し、自律した地域運営に向けた支援を中間支援組織と連携して行う。 地域活動に関するさまざまな情報を収集・把握するとともに、広く区民や地域活動団体にPRする。 人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図り、地域の自主財源確保に向けた支援を行う。 ・中間支援組織と連携し、地域団体に会計の透明性に向けた助言・指導を行い、交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・中間支援組織等と連携し、各地域の広報活動に助言・指導 12地域 ・地域活動や地域の魅力などの情報発信 随時 ・地域の法人格取得支援 随時	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合60％以上	目標が30％未満であれば、事業手法を再構築する。	・地域活動協議会運営支援 12地域 ・会計勉強会の開催 12地域 ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・地域の魅力や地域活動情報を区HP・フェイスブックへ掲載 随時 ・広報事業勉強会 10回	・会計の透明性に向けた勉強会 12地域 ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・各地域への広報活動に助言・指導 12地域 ・地域活動や地域の魅力などの情報発信 随時 ・地域の法人格取得支援 随時	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合 68.5％	()	○	—	—	
(4)	地域公共人材の充実と中間支援組織の活用														
	㊩	地域公共人材の充実と活用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度までに50％以上	[2-1-1] 各地域に担当職員を複数名配置し、自律した地域運営に向けた支援を中間支援組織と連携して行う。 地域活動に関するさまざまな情報を収集・把握するとともに、広く区民や地域活動団体にPRする。 人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図り、地域の自主財源確保に向けた支援を行う。 ・中間支援組織と連携し、地域団体に会計の透明性に向けた助言・指導を行い、交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・中間支援組織等と連携し、各地域の広報活動に助言・指導 12地域 ・地域活動や地域の魅力などの情報発信 随時 ・地域の法人格取得支援 随時	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合60％以上	目標が30％未満であれば、事業手法を再構築する。	・地域活動協議会運営支援 12地域 ・会計勉強会の開催 12地域 ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・地域の魅力や地域活動情報を区HP・フェイスブックへ掲載 随時 ・広報事業勉強会 10回	・会計の透明性に向けた勉強会 12地域 ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・各地域への広報活動に助言・指導 12地域 ・地域活動や地域の魅力などの情報発信 随時 ・地域の法人格取得支援 随時	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合 68.5％	()	○	—	—	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(鶴見区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度												
					めざす成果および戦略												
項目				成果指標と目標値		計画			自己評価								
						めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況 a:順調 b:順調でない	課題	今後の対応方向・改善策	
									A:有効であり、継続して推進 I:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない					
			㊦ 中間支援組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	H29年度までに50%以上	[2-1] 幅広い人たちが参加しやすい魅力ある地域活動が行われ、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域コミュニティをめざす。	地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだと回答した区民の割合：平成29年度までに70%以上	・自律的な地域運営や地域活動の活性化に向けた支援を行う。 ・地域活動への関心が低い人たちが地域活動に関わりの薄かった人が地域活動へ参加しやすい環境づくりに向けた支援を行う。 ・多様な分野における市民活動について、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図る。	ア	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合68.5%	67.4%	A	A	a	—	—	
2		「自律した自治体型の区政運営」に向けて															
	(1)	区における住民主体の自治の実現															
			多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[1-1] 区民が世代を問わず鶴見区の歴史やまちの魅力を感じ、愛着を深めている。区外にも広く鶴見区の魅力を感じる人が増えている。	区の魅力創造につながる取組みを通じて、区の魅力が向上したと感じている区民の割合：平成29年度までに80%以上	・魅力的で賑わいのある取組みを通じて、全ての世代が参加しやすく、相互に交流を持つことができる取組みを行う。 ・区の歴史やまちの魅力について触れる機会が少ない区民(特に転入者や子育て世帯等)が、区の歴史やまちの魅力を知り、関心をもつ機会を創出する。 ・地域や家庭レベルの身近な生活の中で実践できるエコ活動など、さまざまな角度から環境に対する意識を高める取組みを推進する。 ・地域住民が主体的かつ積極的に取り組む体制作りや活動のサポート、関係機関との連携等を進めていく。	ア	区の魅力創造につながる取組みを通じて、区の魅力が向上したと感じている区民の割合：71.7%	66.2%	A	A	a	—	—	
						[6-2] 必要な情報が入手できていると感じている区民を増やす。	区役所からの情報発信により必要とする市政情報を入手できていると感じている区民の割合：平成29年度までに85%以上	広報紙、HPをはじめとするさまざまな広報媒体を有効に活用し、きめ細かい情報発信に努める。	イ	区役所からの情報発信により必要とする区政情報を入手できていると感じている区民の割合：65.6%	73.9%	B	B	a	区政情報を発信するための広報媒体の1つである広報紙については、広く区民へ認知されている一方、SNSやHPを有効に活用した情報発信が実施できているとは言えない。	SNSやHPを有効に活用し、ターゲット層を意識した効果的な区政情報の発信を行う。	
				区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[1-1] 区民が世代を問わず鶴見区の歴史やまちの魅力を感じ、愛着を深めている。区外にも広く鶴見区の魅力を感じる人が増えている。	区の魅力創造につながる取組みを通じて、区の魅力が向上したと感じている区民の割合：平成29年度までに80%以上	・魅力的で賑わいのある取組みを通じて、全ての世代が参加しやすく、相互に交流を持つことができる取組みを行う。 ・区の歴史やまちの魅力について触れる機会が少ない区民(特に転入者や子育て世帯等)が、区の歴史やまちの魅力を知り、関心をもつ機会を創出する。 ・地域や家庭レベルの身近な生活の中で実践できるエコ活動など、さまざまな角度から環境に対する意識を高める取組みを推進する。 ・地域住民が主体的かつ積極的に取り組む体制作りや活動のサポート、関係機関との連携等を進めていく。	ア	区の魅力創造につながる取組みを通じて、区の魅力が向上したと感じている区民の割合：71.7%	66.2%	A	A	a	—	—	
						[6-2] 必要な情報が入手できていると感じている区民を増やす。	区役所からの情報発信により必要とする市政情報を入手できていると感じている区民の割合：平成29年度までに85%以上	広報紙、HPをはじめとするさまざまな広報媒体を有効に活用し、きめ細かい情報発信に努める。	イ	区役所からの情報発信により必要とする区政情報を入手できていると感じている区民の割合：65.6%	73.9%	B	B	a	区政情報を発信するための広報媒体の1つである広報紙については、広く区民へ認知されている一方、SNSやHPを有効に活用した情報発信が実施できているとは言えない。	SNSやHPを有効に活用し、ターゲット層を意識した効果的な区政情報の発信を行う。	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(鶴見区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度											
					具体的取組											
項目		成果指標と目標値			計画					自己評価						
					取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策		
										：目標達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった	：目標未達成（ ）取組は予定どおり実施しなかった				○：有効 ×：有効でないため見直す	
		㊦	中間支援組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	H29年度までに50%以上	[2-1-1] 各地域に担当職員を複数名配置し、自律した地域運営に向けた支援を中間支援組織と連携して行う。 地域活動に関するさまざまな情報を収集・把握するとともに、広く区民や地域活動団体にPRする。 人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図り、地域の自主財源確保に向けた支援を行う。 ・中間支援組織と連携し、地域団体に会計の透明性に向けた助言・指導を行い、交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・中間支援組織等と連携し、各地域の広報活動に助言・指導 12地域 ・地域活動や地域の魅力などの情報発信 随時 ・地域の法人格取得支援 随時	「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合60%以上	割合目標が30%未満であれば、事業手法を再構築する。	・地域活動協議会運営支援 12地域 ・会計勉強会の開催 12地域 ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・地域の魅力や地域活動情報を区HP・フェイスブックへ掲載 随時 ・広報事業勉強会 10回	・会計の透明性に向けた勉強会 12地域 ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表 12地域 ・各地域への広報活動に助言・指導 12地域 ・地域活動や地域の魅力などの情報発信 随時 ・地域の法人格取得支援 随時		()	○	—	—	
2			「自律した自治体型の区政運営」に向けて													
	(1)		区における住民主体の自治の実現													
			多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[1-1-1] 地域の団体やボランティア、関係機関と連携、協力を得て、より魅力的で来場者や参加者の満足度が高いイベントを実施することで、賑わいを創出し、地域の活性化を促進しながら区外にも鶴見区の魅力を広める取組を行う。 ・魅力創造事業のイベント 随時 区民が世代を問わず鶴見区の歴史やまちの魅力を感じ、愛着を深められる取組を行う。 ・「発見！！つる魅力」冊子の転入世帯への配布 ・撮影体験イベント 1回 ・区役所庁舎等を活用した音楽コンサート実施 12回 さまざまな広報媒体を活用して、区の魅力PRに取り組む ・区広報紙、HP、フェイスブック、広報板等による情報発信 随時	事業を通じて、「多種多様なイベント・事業が行われているので鶴見区は楽しく面白い、魅力のあるまちであると感じる」と回答した区民の割合60%以上	左記目標が30%未満であれば、事業を再構築する。	平成27年度実績：つるみブランドフェスティバル開催1回、つるみワールドフェスタ開催1回、鶴見光の花枝敷2015開催1回、「発見！！つる魅力」冊子製作・発行実施1回、鶴見活性化楽園会議の運営11回及び企画イベント実施1回、区役所庁舎等を活用した音楽コンサート実施6回、「いも苗植え～いも掘りプロジェクト」実施1回、鶴見緑地ポップカルチャーコスプレDay～つるコス～実施7回 平成26年度実績：つるみブランドフェスティバル開催1回、スポーツフェスタ開催1回、区制40周年記念音楽祭開催1回、TSURUMIサウンドフェスティバル開催1回、鶴見光の花枝敷開催1回、鶴見春の草花散策ウォーク開催1回、鶴見活性化楽園会議の運営12回及び企画イベント実施1回、「いも苗植え～いも掘りプロジェクト」実施1回、鶴見緑地ポップカルチャーマナー講習会実施7回	・つるみワールドフェスタ 実施1回 ・TSURUMIウィンターフェスティバル 実施1回 ・TSURUMISプリングフェスティバル 実施1回 ・トワイライトコンサート 実施11回 ・TSURUMISプリングコンサート 実施1回 ・おさかな王国 実施1回 ・鶴見緑地写真彩 実施1回 ・鶴見緑地コスプレDay 実施8回 ・「発見！！つる魅力」冊子の転入世帯への配布 ・区の魅力PR 随時	事業を通じて、「多種多様なイベント・事業が行われているので鶴見区は楽しく面白い、魅力のあるまちであると感じる」と回答した区民の割合：75.8%		(i)	○	—	—
						[6-2-1] 区民が求める情報を確実に分かりやすく提供できるよう、広報紙、フェイスブック、HP、広報板等さまざまな媒体を活用し情報発信する。 ・広報紙、HP、フェイスブックによる情報発信 随時 ・小学校を通じたイベント、区政情報等の発信 11回 ・地域課題解決型広報紙配布業務の実施 毎月	区役所が実施している広報媒体の認知度90%以上	・左記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。	・広報紙、HPやフェイスブックの更新、広報板や情報コーナーを活用した情報提供 随時 ・小学校を通じたイベント、区政情報の発信 11回 ・職員向けHP操作研修 H27年6月	・広報紙全戸配布 毎月 ・広報紙、HP、フェイスブックによる区長メッセージ・区政情報等の情報発信 随時 ・小学校を通じたイベント・区政情報等の発信 11回	広報つるみの認知度 91.7%		()	○	—	—
		㊦		区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[1-1-1] 地域の団体やボランティア、関係機関と連携、協力を得て、より魅力的で来場者や参加者の満足度が高いイベントを実施することで、賑わいを創出し、地域の活性化を促進しながら区外にも鶴見区の魅力を広める取組を行う。 ・魅力創造事業のイベント 随時 区民が世代を問わず鶴見区の歴史やまちの魅力を感じ、愛着を深められる取組を行う。 ・「発見！！つる魅力」冊子の転入世帯への配布 ・撮影体験イベント 1回 ・区役所庁舎等を活用した音楽コンサート実施 12回 さまざまな広報媒体を活用して、区の魅力PRに取り組む ・区広報紙、HP、フェイスブック、広報板等による情報発信 随時	事業を通じて、「多種多様なイベント・事業が行われているので鶴見区は楽しく面白い、魅力のあるまちであると感じる」と回答した区民の割合60%以上	左記目標が30%未満であれば、事業を再構築する。	平成27年度実績：つるみブランドフェスティバル開催1回、つるみワールドフェスタ開催1回、鶴見光の花枝敷2015開催1回、「発見！！つる魅力」冊子製作・発行実施1回、鶴見活性化楽園会議の運営11回及び企画イベント実施1回、区役所庁舎等を活用した音楽コンサート実施6回、「いも苗植え～いも掘りプロジェクト」実施1回、鶴見緑地ポップカルチャーコスプレDay～つるコス～実施7回 平成26年度実績：つるみブランドフェスティバル開催1回、スポーツフェスタ開催1回、区制40周年記念音楽祭開催1回、TSURUMIサウンドフェスティバル開催1回、鶴見光の花枝敷開催1回、鶴見春の草花散策ウォーク開催1回、鶴見活性化楽園会議の運営12回及び企画イベント実施1回、「いも苗植え～いも掘りプロジェクト」実施1回、鶴見緑地ポップカルチャーマナー講習会実施7回	・つるみワールドフェスタ 実施1回 ・TSURUMIウィンターフェスティバル 実施1回 ・TSURUMISプリングフェスティバル 実施1回 ・トワイライトコンサート 実施11回 ・TSURUMISプリングコンサート 実施1回 ・おさかな王国 実施1回 ・鶴見緑地写真彩 実施1回 ・鶴見緑地コスプレDay 実施8回 ・「発見！！つる魅力」冊子の転入世帯への配布 ・区の魅力PR 随時	事業を通じて、「多種多様なイベント・事業が行われているので鶴見区は楽しく面白い、魅力のあるまちであると感じる」と回答した区民の割合：75.8%		(i)	○	—	—
			[6-2-1] 区民が求める情報を確実に分かりやすく提供できるよう、広報紙、フェイスブック、HP、広報板等さまざまな媒体を活用し情報発信する。 ・広報紙、HP、フェイスブックによる情報発信 随時 ・小学校を通じたイベント、区政情報等の発信 11回 ・地域課題解決型広報紙配布業務の実施 毎月				区役所が実施している広報媒体の認知度90%以上	・左記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。	・広報紙、HPやフェイスブックの更新、広報板や情報コーナーを活用した情報提供 随時 ・小学校を通じたイベント、区政情報の発信 11回 ・職員向けHP操作研修 H27年6月	・広報紙全戸配布 毎月 ・広報紙、HP、フェイスブックによる区長メッセージ・区政情報等の情報発信 随時 ・小学校を通じたイベント・区政情報等の発信 11回	広報つるみの認知度 91.7%		()	○	—	—

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(鶴見区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度											
					めざす成果および戦略											
					計画			自己評価								
項目			成果指標と目標値		めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向・改善策	
								ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す					A:順調 B:順調でない			a:順調 b:順調でない
			多様な区民の意見やニーズの確な把握と区政情報の発信	区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[1-1] 区民が世代を問わず鶴見区の歴史やまちの魅力を感じ、愛着を深めている。 区外にも広く鶴見区の魅力を感じる人が増えている。	区の魅力創造につながる取組を通じて、区の魅力が向上したと感じている区民の割合:平成29年度までに80%以上	・魅力的で賑わいのある取組を通じて、全ての世代が参加しやすく、相互に交流を持つことができる取組を行う。 ・区の歴史やまちの魅力について触れる機会が少ない区民(特に転入者や子育て世帯等)が、区の歴史やまちの魅力を知り、関心をもつ機会を創出する。 ・地域や家庭レベルの身近な生活の中で実践できるエコ活動など、さまざまな角度から環境に対する意識を高める取組を推進する。 ・地域住民が主体的かつ積極的に取り組む体制作りや活動のサポート、関係機関との連携等を進めていく。	ア	区の魅力創造につながる取組を通じて、区の魅力が向上したと感じている区民の割合:71.7%	66.2%	A	A	a	—	—
						[6-2] 必要な情報が入手できていると感じている区民を増やす。	区役所からの情報発信により必要とする市政情報を入手できていると感じている区民の割合:平成29年度までに85%以上	広報紙、HPをはじめとするさまざまな広報媒体を有効に活用し、きめ細かい情報発信に努める。	イ	区役所からの情報発信により必要とする区政情報を入手できていると感じている区民の割合:65.6%	73.9%	B	B	a	区政情報を発信するための広報媒体の1つである広報紙については、広く区民へ認知されている一方、SNSやHPを有効に活用した情報発信が実施できているとは言えない。	SNSやHPを有効に活用し、ターゲット層を意識した効果的な区政情報の発信を行う。
		④	区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	区役所が、区政運営について、様々な取組の企画・計画段階から、区民との対話や協働を行うとともに、区民から受けた評価を改善につなげるなどPDCAサイクルを適切に運用している状態。	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合:平成29年度までに60%以上	区議会などを活用し、区における施策や事業について、区民にその企画・計画段階から参画していただくとともに、協働してこれに取り組む、その成果について評価を得て改善につなげていく。	ア	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合:33.7%	32.1%	A	A	a	—	—
			区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聴くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合:平成29年度までに60%以上					区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聴くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合:22.5%	24.4%	B				
(2)		区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり														
		⑦	区における市政の総合窓口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度までに80%以上	区役所が、区民から寄せられる日常生活に関する様々な相談や要望を総合的に受け付け、個々の事業に応じて関係局等への連絡や指示を適切に行うとともに、適切な機関や窓口を調べ、情報を提供したり、必要に応じて自ら問い合わせを行い、状況を相談者等にフィードバックしたりするなど、区における市政の総合窓口としての役割を果たしている状態	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合:平成29年度までに80%以上	区民が抱える様々な課題に対して、関係局と連携して適切に対応し、区民に身近な総合行政の拠点として区民から信頼されるようにする。	ア	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合:73.2%	64.50%	A	A	a	—	—

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(鶴見区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度									
					具体的取組									
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価						
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策	
									：目標達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ：目標未達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ：撤退基準未達成	○：有効 ×：有効でないため見直す				
		多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[1-1-1] 地域の団体やボランティア、関係機関と連携、協力を得て、より魅力的で来場者や参加者の満足度が高いイベントを実施することで、賑わいを創出し、地域の活性化を促進しながら区外にも鶴見区の魅力を広める取組を行う。 ・魅力創造事業のイベント 随時 区民が世代を問わず鶴見区の歴史やまちの魅力を感じ、愛着を深められる取組を行う。 ・「発見！！つる魅力」冊子の転入世帯への配布 ・撮影体験イベント 1回 ・区役所庁舎等を活用した音楽コンサート実施 12回 さまざまな広報媒体を活用して、区の魅力PRに取り組む ・区広報紙、HP、フェイスブック、広報板等による情報発信 随時	左記目標が30%未満であれば、事業を再構築する。	平成27年度実績：つるみブランドフェスティバル開催1回、つるみワールドフェスタ開催1回、鶴見光の花枝敷2015開催1回、「発見！！つる魅力」冊子製作・発行実施1回、鶴見活性化楽団会議の運営11回及び企画イベント実施1回、区役所庁舎等を活用した音楽コンサート実施6回、「いも苗植え～いも掘りプロジェクト」実施1回、鶴見緑地ポップカルチャーコスプレDay～つるコス～実施7回 平成26年度実績：つるみブランドフェスティバル開催1回、スポーツフェスタ開催1回、区制40周年記念音楽祭開催1回、TSURUMIサウンドフェスティバル開催1回、鶴見光の花枝敷開催1回、鶴見春の早花散策ウォーク開催1回、鶴見活性化楽団会議の運営12回及び企画イベント実施1回、「いも苗植え～いも掘りプロジェクト」実施1回、鶴見緑地ポップカルチャーマナー講習会実施7回	・つるみワールドフェスタ 実施1回 ・TSURUMIウィンターフェスティバル 実施1回 ・TSURUMISプリングフェスティバル 実施1回 ・トワイライトコンサート 実施11回 ・TSURUMISプリングコンサート 実施1回 ・おさかな王国 実施1回 ・鶴見緑地写真彩 実施1回 ・鶴見緑地コスプレDay 実施8回 ・「発見！！つる魅力」冊子の転入世帯への配布 ・区の魅力PR 随時	事業を通じて、「多種多様なイベント・事業が行われているので鶴見区は楽しく面白い、魅力のあるまちであると感じる」と回答した区民の割合：75.8%	(i)	○	—	—	
					[6-2-1] 区民が求める情報を確実に分かりやすく提供できるよう、広報紙、フェイスブック、HP、広報板等さまざまな媒体を活用し情報発信する。 ・広報紙、HP、フェイスブックによる情報発信 随時 ・小学校を通じたイベント、区政情報等の発信 11回 ・地域課題解決型広報紙配布業務の実施 毎月	区役所が実施している広報媒体の認知度90%以上	・左記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。	・広報紙、HPやフェイスブックの更新、広報板や情報コーナーを活用した情報提供 随時 ・小学校を通じたイベント、区政情報の発信 11回 ・職員向けHP操作研修 H27年6月	・広報紙全戸配布 毎月 ・広報紙、HP、フェイスブックによる区長メッセージ 区政情報等の情報発信 随時 ・小学校を通じたイベント 区政情報等の発信 11回	広報つるみの認知度 91.7%	()	○	—	—
					① 区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	区役所の施策や事務事業への区民意見の反映 区政会議委員の意見について、進捗管理を行い結果について、随時ホームページ等により公表する。	区政会議での意見について、対応、反映を行った件数15件以上	左記件数が10件を下回った場合、事業手法を再構築する。	区政会議の開催(全体会 4回、部会 延べ11回)	区政会議(全体会)4回 区政会議(4部会)各3回	区政会議での意見について、対応、反映を行った件数：36件	()
(2) 区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり														
⑦		区における市政の総合窓口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度までに80%以上	区役所が、来庁・電話・郵便・インターネット等により区民から寄せられる日常生活に関する様々な相談・要望等を総合的に受け付け、個々の事案に応じて、関係局に連絡、指示を行う等、適切かつ迅速な対応を行う。 区役所版FAQの更新(随時)	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合：70%以上	区役所版FAQの作成 庁内ポータルへの掲載により職員への情報提供	FAQの更新(随時)	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合：73.2%	()	○	—	—	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(鶴見区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度										
					めざす成果および戦略										
					計画			自己評価							
項目		成果指標と目標値			めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向・改善策
								ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない		a:順調 b:順調でない		
(3)	区民が満足・納得できる区役所運営														
⑦	庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上	区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合 区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数	H29年度までに80%以上 H29年度までに3.5点以上	[6-1] 窓口案内や庁内環境が改善されて、快適な区役所づくりが進められている。	窓口サービスの向上が図られていると感じる区民の割合 平成30年度までに80%以上	業務改善プロジェクトチームや、窓口サービス課市民サービス向上委員会を中心に、職員が一体となって、窓口サービスの改善に取り組む。	ア	窓口サービスの向上が図られていると感じる区民の割合:57.6%	—	A	A	a	—	—	
							—	—	—	—	—				
							—	—	—	—	—				
							—	—	—	—	—				
							—	—	—	—	—				
①	区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	H29年度までに60%以上	[様式3 取組項目1] 区庁舎等の省エネルギー化を図り、維持管理経費の削減をめざす。	平成29年度の電気使用量を平成22年度比で約15%の削減をめざす。	・設備機器の日常的なきめ細やかな運転制御 ・職員の意識改革	—	—	—	—	—	—	—	—	
				[様式3 取組項目2] 介護保険事業の安定した運営と、負担の公平性の確保のため、収納率の維持・向上に取り組む。	毎年、前年度収納率を上回る。	電話・文書による納付勧奨により、未収金を発生させない取組みを進める。	—	—	—	—	—	—			
				[様式3 取組項目3] 国民健康保険事業の安定した運営と負担の公平性確保のため、未収保険料の回収と未納額圧縮及び現年度収納率向上を課題とする。	当面、現年度分の収納率91.7%をめざし重点的に取り組むが、並行して滞納繰越分の解消についても取組みを図っていく。	局予算による区長マネジメント「区独自の国民健康保険料収納対策事業」の継続した取組み実施、[国民健康保険料収納率向上ワーキングチーム(区)]及び[滞納整理チーム(局)]とも協議調整のうえ収納率向上に取り組む。	—	—	—	—	—	—			
				[様式3 取組項目4] 行政財産(区役所等)を活用した区独自歳入の確保に努め、税等の負担を軽減させる。	毎年、前年度歳入額を上回る。	行政財産(区役所等)を活用した広告事業を実施する。	—	—	—	—	—	—			

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(鶴見区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度									
					具体的取組									
					計画				自己評価					
項目		成果指標と目標値			取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策
										: 目標達成 () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった : 目標未達成 () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった : 撤退基準未達成	○: 有効 ×: 有効でないため見直す			
(3)	区民が満足・納得できる区役所運営													
⑦		庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上	区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での応対が良いと感じた区民の割合 区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数	H29年度までに80%以上 H29年度までに3.5点以上	[6-1-1] 利用者の視点に立った快適で効率的な窓口サービスを提供するとともに、待ち時間の短縮や「待たされ感」の軽減を図る。 ・証明書発行業務等において業務フローの見直しを行い、申請から発行までの時間短縮を図る。 ・混雑予想日をHP等に掲載することにより、窓口混雑の緩和を図る。 ・職員の接遇力向上をめざし、接遇研修(2回)、職員の窓口対応について実地指導(2回)を実施する。 ・窓口アンケート(2回)を実施し、結果を公表することにより啓発を図る。 ・部署を超えて窓口事務の連携を強化し、手続きの効率化を図る。	窓口アンケートにおいて、窓口サービスについて肯定的な回答をした区民の割合が80%以上	左記目標が50%未満であれば、事業手法を再構築する。	接遇CS研修4回(内2回は実地指導) 待合スペースにおいての広報、イベント情報等の配架等 業務改善プロジェクトチーム、窓口サービス課市民サービス向上検討委員会の設置 よりわかりやすい案内表示等の整備	・利用者目線に立った窓口の改善(窓口のローカウンター化、プライバシーに配慮した相談ブース改修、ボイスコールの機種更新) ・窓口サービス課(保険年金担当) ・業務フローの見直しによる処理時間(待ち時間)の短縮 ・窓口サービス課(住民情報担当) ・出生届出時の国民健康保険証交付にかかるワンストップサービスの実施 ・窓口サービス課 ・民間講師によるテーマ別接遇研修(全10回) ・窓口アンケートの実施	窓口アンケートにおいて、窓口サービスについて肯定的な回答をした区民の割合:97.9%	()	○	・業務フロー等の見直しによる処理時間(待ち時間)短縮 ・各窓口の相互連携の検討	・窓口サービス課窓口サービス向上検討委員会を中心に、窓口サービス課内(住民情報・保険年金)の連携だけでなく、保健福祉課を含めたさらなる連携強化 ・混雑予想日のホームページ等に掲載することによる、窓口の混雑緩和(保険年金担当)
				H29年度までに60%以上	[様式3 取組項目1] ・空調機器の運転制御により、窓口業務閉庁時間後に庁舎内全館の一斉停止を行う。 ・空調・照明機器の使用にあたり、各職員に対し適正な利用を周知し、意識の向上に努める。	平成28年度の電気使用量を、平成22年度比で約10%の削減をめざす。	—	—	中央監視操作盤において、小まめに運転制御調整を図った。 また、空調・照明の使用にあたり、毎回の庶務担当係長会議において各職員に対して適正な利用を周知したり、会議室等に節電対策関連の表示物を掲示し、意識向上に努めた。	平成28年度の電気使用量を平成22年度比で約34%減	()	—	—	—
					[様式3 取組項目2] 介護保険制度の情報提供を行うとともに、保険料の口座振替を勧奨する。 区独自に滞納者をリストアップし、電話・文書による納付勧奨を行う。 民間委託業者が行う早期・短期滞納者への納付督促業務では対応できなかった中期滞納者に対し、電話・文書による納付勧奨を行い、未収金を発生させない取組みを進める。	平成27年度収納率以上をめざす。	—	—	・中長期滞納者に対し、電話・文書による納付勧奨を実施。 ・短期滞納者で委託業者が接触不能であった者に対し、文書による納付勧奨を実施。 ・保険料段階が第1段階の滞納者に対し、納付勧奨を実施。 ・特別徴収停止者に対し、口座勧奨文書を送付。 ・第1次～第3次対策として、本人課税者(7～11段階)滞納者に対し、納付書・文書を送付、または電話勧奨を行い、納付交渉を実施。	現年度収納率 29年3月末現在 98.26%(昨年同月比 0.17%増)	()	—	—	—
					[様式3 取組項目3] 保険料の口座振替を推奨する取組 滞納初期段階での接触で未納額を累積させない取組 (収納状況を観察し滞納者と接触、所得や困窮状況を把握) 財産調査、差押処分を積極的に実施する取組 (悪質、常習等の滞納者への来庁勧奨及び納付督促) 国保資格の確認をもって適正調定額の算定を図る取組 (社保加入調査、不現住調査)	現年度分の目標収納率91.7%以上 ・口座振替率53%以上	—	—	・収納状況を観察し未納世帯への早期納付勧奨 ・財産調査の実施(2,080世帯 前年同月比 425件増) ・社会保険加入調査・不現住調査の実施 ・保険料の口座振替勧奨	現年度収納率 平成29年3月末現在 88.03%(昨年同月比 0.24%増) 口座振替率 平成29年3月末現在 49.99%(昨年同月比 0.45%増)	()	—	—	—
⑧		区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合		[様式3 取組項目4] エレベーター内等の壁面空きスペースに、広告事業主を募集を行う。	平成27年度以上の歳入の確保をめざす。	—	—	1階窓口サービス課に広告付電子番号表示機を設置し、歳入を年間通じて確保した。	庁舎利用広告歳入 2,374,971円(平成27年度 2,148,171円)	()	—	—	—